

平成27年1月15日

NHK経営計画（2015-2017年度）議決を受けて

日本放送協会
会長 萩井勝人

「NHK経営計画（2015-2017年度）」が、本日の経営委員会で議決されました。

この経営計画は、NHKが将来にわたって視聴者のみなさまからの信頼を得て、コンテンツ創造集団として公共放送の使命を果たし続けるための「挑戦と改革のプログラム」です。

インターネットの生活への浸透や国際化の進展により、メディアや視聴者の環境は激しく変化しています。2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、変化はさらに加速すると考えます。

そこで、計画では、まず、NHKが今後進むべき大きな方向を、2020年を見据えた「NHKビジョン『信頼をより確かに、未来へつなぐ創造の力』」としてまとめました。世界から注目が集まる2020年に、最高水準の放送・サービスを視聴者のみなさまに届け、「より身近で、信頼できるメディア」となることをめざします。

2015年度からの3か年の経営計画は、このビジョンの実現に向けた「第一ステップ」と位置づけ、5つの重点方針を掲げました。

まず、3つの重点方針により、放送・サービスのさらなる充実・強化に挑戦します。放送法に則り、公共放送NHKの根幹となる正確な報道や豊かで質の高い多彩な番組などのコンテンツをさらに充実・強化します。そして、正確な情報で日本に対する正しい理解を促すために、国際放送を強化して、日本を世界に積極的に発信します。さらに、放送を太い幹としつつ、放送だけでなく、インターネットも積極的に活用して、より多くの人にNHKのコンテンツを届け、人と人を“つなぐ”「情報の社会的基盤」の役割を果たします。

新しい時代に向けた挑戦を着実に進めていくために、2つの重点方針により、経営を改革します。受信料の公平負担の徹底に向けて最大限努力します。そして、創造と効率を追求する組織に改革します。

NHKは、視聴者のみなさまの期待に応えるため、「挑戦と改革のプログラム」の達成に向けて、総力を挙げて取り組んでまいります。